

柴橋地区地域づくり計画書

～七つの郷を虹色で彩る 心ひとつの里づくり～



令和3年2月

しばはし (4884) 地域づくり委員会

ごあいさつ

少子高齢化の進展が課題と言われ久しく、寒河江市の人口は平成17年をピークに緩やかではありますが減少傾向にあり、柴橋地区においても、平成30年には5千人を割り高齢化率も右肩上がり、それに、生活様式の向上に伴い、いつの間にか隣近所との希薄化も進んでいるように感じられ、より一層の地域の在り方が問われているように思われます。

コミュニティセンター化への発端は、平成24年度地区の拠点である柴橋地区公民館の屋内運動場（昭和26年建造）が、大型木造による耐震化が難しく学童施設も隣接し、安全確保の観点から早期建替えを市に当時の区長会が要望しておりました。

その後も、市と規模等について協議をしている中、平成28年度から10年間のまちづくりとなる市の第6次振興計画の策定に向けた地域毎のワークショップ等があり、地区公民館の再編とコミュニティセンター併設が提唱され、市内他の地区の先駆けとして柴橋地区を推進していく方針が謳われております。

これらを受け、平成29年7月に多世代交流センター利用検討委員会（会長井上康氏）を発足し、先進地視察等も行い勉強会を重ねて来ましたが、平成30年度からは、コミセン化によるこれからの地区の在り方と、新施設の効率的な利活用も併せて検討する事を決定し、地区民アンケート等を実施するなどハードとソフト両面の検討を進め、今後の方針等を地区民に中間報告も行って来たところであります。

それらの経過を経て、令和元年7月には新施設となる多目的ホールと学童施設の建築工事が着工し、翌年3月には完成を見る事となり、全施設の愛称を地区民から募集し「この木交流センター」として利活用されております。地区としては安全安心が確保され、佐藤洋樹市長の地元への強い思いに対し敬意を表するところであります。

令和元年度末には、これからは行政に頼るだけでなく、自分達の住んでいる地域を自分達で創り上げるコミセン化のメリット等を地区民に広報し、各種団体の改革も手掛け、今後の組織と事業づくりを作成し発展的に検討委員会を解散しております。

委員会メンバーの、献身的なご努力に感謝を申し上げます。

新たな組織は、地区内の各種団体により構成し、縦割り体制から横の連絡調整も図れ、地域全体を話し合えるシンクタンクとして、令和2年4月「しばはし(4884)地域づくり委員会」を立ち上げたところであります。この度は市初めての施策に、共に親身になって取り組んで頂いた市担当者の方々にも改めて感謝を申し上げます。

今年度、発足記念事業も予定しておりましたが、新型コロナウイルスにより中止をせざるを得ない状況となったため、必須事業を前倒しして、今後の柴橋地区発展の道標となる「柴橋地区地域づくり計画書」の策定に取り組んで来たところであります。

これからさらに、地区民がまとまり、遊び心を忘れず、潜在的な柴橋らしさを掘り起こし、笑顔で住みやすい心の通った地域を創って行きたいと思っております。

地区民の皆さんのご協力をお願い致します。

しばはし(4884)地域づくり委員会
会長 柏倉隆夫

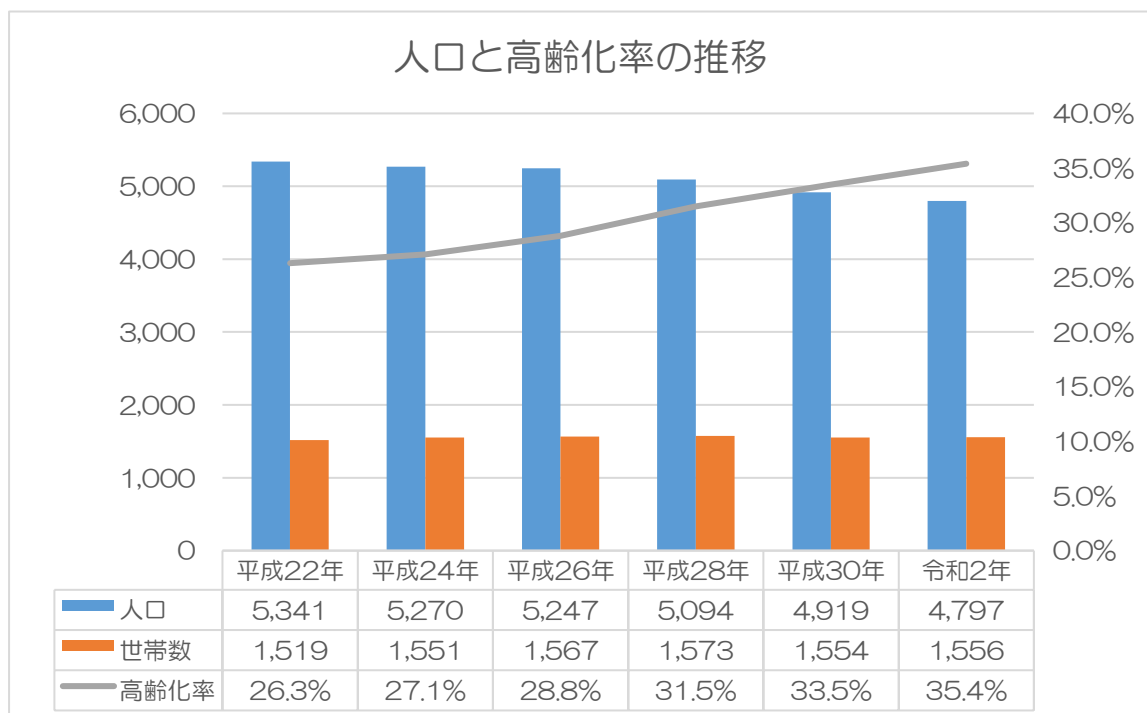
1. 計画策定の趣旨

近年の柴橋地区を平成22年と令和2年で比較すると、人口は544人が減少、高齢化率は26.3%から35.4%に増加し、4人に1人から3人に1人と急激に高齢化が進んでいます。このように少子高齢化の進展による地域活力の低下や、住民意識の変化による近所付き合いの希薄化など、社会を取り巻く環境は大きく変化をしております。また、豪雨災害や新型コロナウイルスなど、住民の安全・安心を脅かす自然災害や環境問題も発生しております。

今こそ、自分たちが住んでいる地域を自分たちで、よりよい地域にするために地域の課題や生活課題を自分たちで見つけ、解決していく活動が重要であります。

もとより柴橋地区には、他の地域に勝る特長・強みが多くあります。一つは、地の利です。この木交流センターと小学校、保育所が隣接していることから、お年寄りや子供と一緒に交流することで相互の見守りなどにも役立ちます。二つ目は、交通の要衝の地でもあります。地区内を国道が2本走り、山形自動車道寒河江サービスエリアも間近にあります。さらに、JR左沢線の柴橋駅もあるなど交通網の利便性の高い地域であります。三つめは、山形県指定無形民俗文化財平塩舞楽が奉納されている平塩熊野神社など歴史的な名所が数多くあります。

地域づくりは人づくりでもあり、人が動けば地域も動きます。これからは、「しばはし(4884)地域づくり委員会」が核となり、この木交流センターを教育・文化・スポーツや多世代間交流などの拠点として、自分たちの住む柴橋地区に愛着を感じ、夢と誇りの持てる将来像を描き、その実現を図るために、「柴橋地区地域づくり計画」を策定しました。



2. 柴橋地区の目指す将来像

柴橋地区では、地域の方を対象としたワークショップや全戸を対象としたアンケートを実施しており、その中には地域に愛着を持っている方がとても多く、将来もずっと柴橋に住み続けたいという意見が多くありました。

それを基に、柴橋地区が子どもも大人も笑顔で暮し続けることができ、地域の人達が集い語らい、互いに助け合えるコミュニティとするため、柴橋地区の将来像（スローガン）を次のように定めます。

「七つの郷を虹色で彩る 心ひとつの里づくり」

3. 計画の期間

令和3年度から令和7年度までの5年間と定めます。

目指す将来像に向けて事業を進めるとともに、現状の見直しを行いながら地域課題を解決するため、毎年達成状況を確認しながら取り組んでまいります。



4. 今後取り組むべき地域課題と目標

(1) 安心・安全について

◆現状と課題

道路へのゴミのポイ捨てが多く見られ、同じ場所へ何度も捨てられている現状があることに加え、道路脇の草木の整備がされておらず、歩道へ伸びた草木が歩行者の妨げとなっている場所もあります。このままでは柴橋地区の景観を損ねてしまいます。

また、寒河江市内でも時折不審者の目撃情報があり、児童の安全を守るために登下校時の立哨や街灯の無い区間への防犯灯の設置などの対応の必要性が高まっています。さらに、現在は立哨活動をしている時に指導員と児童との間であいさつを交わしていないことも多く、子どもと地域の大人との顔の見える付き合いが希薄になってきています。

◆目標

子どもも大人も安心な地域づくり

◆具体的な取組み

①ゴミ捨て防止・ゴミ拾い活動と公道・歩道の環境整備

- ・ゴミ捨て注意看板の設置（防犯カメラの設置を含む）
- ・清掃活動の奨励と推進
（市クリーン作戦・各区クリーン作戦・高速道路側道清掃・各町会の自主清掃活動）
- ・道路の安全点検と草木の伐採処理
- ・各区の公的な場所や公道の除草活動
- ・市フラワーロード植栽活動と維持管理

②子ども達の安全確保

- ・柴っ子見守り隊活動
- ・登下校時間の立哨活動
- ・青パトによる巡回活動
- ・防犯カメラと街灯増設事業

③子どもも大人もあいさつのし合える環境作り

- ・交通安全指導、立哨活動でのあいさつ運動
- ・地区民による声掛け運動の推進
- ・地区行事やイベントへの参加推奨
による関わり合いの増加

○主な担当団体

- 柴橋地区町会衛生部会
- 柴橋地区交通安全部会
- 市防犯協会柴橋支部



高速道路側道清掃

(2) 健康・福祉について

◆現状と課題

高齢化に伴い、一人一人が健康に暮らしていくことがより重要となっています。健康に過ごすためには十分な運動が必要ではあるものの、激しい運動は出来なかったり、遠くへ出かけてまで運動することはできないなど様々な人がいます。そのため、地域で簡単な運動が出来る機会を設けたり、自主的に運動を行うサークル等の存在が大切になっています。

また、健康というのは身体的なものだけでなく、心も健康を保つ必要があります。近年は高齢者の1人暮らしや高齢者のみの世帯が増えていることに加え、以前よりも近所付き合いの希薄化が進行しています。それにより孤独感・孤立感を感じることも増えるため、地域の見守り・声掛けや積極的な社会参加を促すなどの対応が必要となっています。

◆目標

健康で生きがいの持てる地域づくり

◆具体的な取組み

①運動不足解消と体力作り

- ・成人スポーツ講座
- ・朝のラジオ体操と軽スポーツ
- ・地区民レクリエーション大会
- ・地区民交流ワナゲ大会

②健康長寿と見守り運動

- ・見守り、声掛け運動
- ・各区ふれあいサロン活動
- ・100歳体操

③社会参加による生きがい作り

- ・高齢者対象のこの木交流会の開催
- ・地域活動を通じた社会参加の推奨
- ・社会奉仕活動への参加

○主な担当団体

- 柴橋地区体育協会
- 柴橋地区社会福祉協議会
- 柴橋地区民生委員児童委員協議会



高齢者体操

(3) 歴史・文化について

◆現状と課題

柴橋地区には、平塩熊野神社と平塩舞楽などの文化や歴史的遺産が数多く残されているだけでなく、全ての地区に屋号が残っているなど、とても興味深い地区となっています。現在は熊野ラインを進める会を中心にして地区内の文化遺産の保護や活用を行っていますが、地域の方々への文化遺産の周知や会の活動についての理解はまだまだ十分ではないと感じられ、文化遺産の保護と活用の必要性をより多くの方に知ってもらう必要があります。

また、地区内には代々田植踊りが伝承されておりますが、次世代の担い手の確保に苦慮しており、活動が年々難しくなっております。そのため、子ども達に地区の文化を継承することの大切さを知ってもらうとともに、楽しみながら柴橋地区を知り、将来に渡って住み続けていきたいと思ってもらえるように、地区に愛着を持ってもらえるような仕組み作りが求められます。

◆目標

歴史と文化に親しむ地域づくり

◆具体的な取組み

①文化遺産の保護と活用

- ・地区内の遺跡巡り「熊野ラインを歩く」
- ・地区内の遺跡管理

②伝統文化の継承

- ・田植踊り等の継承
- ・地区の言い伝えの伝承

③地域文化への愛着作り

- ・お〜るしばはし文化祭の開催
- ・柴橋小学校の文化体験学習支援
- ・柴橋文化交流会の開催

○主な担当団体

- 熊野ラインを進める会
- 柴橋地区子ども会育成委員連絡協議会



熊野ラインを歩く

(4) 防災・減災について

◆現状と課題

近年は日本全国で毎年のように大規模災害が起こっており、今後は柴橋地区も例外でないと思います。実際に令和元年には台風、令和2年には大雨によりコミュニティセンターに避難所が開設されております。災害が起きた際には、各家庭ごとの非常時の備えや隣近所での支え合い等がとても大事となってきますので、各区の自主防災会や消防団を中心に日頃からの意識付けを行うことが必要です。

また、実際に避難所が開設された際には、避難所内で多くの方が共同生活を送ることとなります。そのため、より多くの方に避難所での過ごし方やルールについて考えてもらう場を作るとともに、地区全体で訓練を行うことで地区ごとの認識のバラつきを減らし、いざという時に一体となって動ける体制作りも必要となります。

◆目標

みんなで支え合い、災害に強い地域づくり

◆具体的な取組み

①災害を想定した意識作り

- ・ 防災意識の啓発活動
- ・ 家庭ごとの緊急時の取決め
- ・ 家庭用消防用具の定期点検
- ・ 非常時持ち出し袋普及推進

②緊急時の体制作り

- ・ 柴橋地区防災計画の策定
- ・ 各区自主防災会の連携強化
- ・ スムーズな連絡体制の構築
- ・ 各区の防災計画の作成
- ・ 各区の自主防災活動

③地区全体の防災活動

- ・ しばはし防災参観日の開催
- ・ 避難所体験訓練

○主な担当団体

- 市消防団第4分団
- 各区自主防災会
- 柴橋地区自主防災会連絡協議会



各区自主防災活動

(5) 生活・人材について

◆現状と課題

柴橋地区には地区内に数多くの大江町の飛地が存在しており、市内でも特別な場所となっています。そのため、寒河江市の住所でも大江町の小学校に通っている町会もあるなど、これまでも市町の隔たり無く協力しながら生活してきました。これからもみんなが住みやすい柴橋地区で共存するために、話し合いや意識調査等を行い、時代とニーズにあった取り組みが必要です。

また、少子高齢化に伴い、地区内の各種団体の後任探しの困難化や役員負担の集中、各種事業参加者の減少など様々な影響が出ています。これまでは団体ごとに事業等の企画立案をしておりましたが、これからは各団体で協力し、柴橋地区全体でそれらの問題を解決していかなければなりません。そのためには地区内に住む若者の意見も不可欠であり、青年部の設立も目指す必要があります。様々な立場の意見を基に、子どもから高齢者まで多くの方が満足する事業を考え、参加者も運営側も楽しめる様な地域づくりが求められます。

◆目標

柴橋ならではの地域づくり

◆具体的な取組み

①大江町飛地と共にある柴橋

- ・住みやすさ調査
- ・地域連携の継続

②地域活動の活性化と効率化

- ・各種団体長会議
- ・体制の見直しによる役員の負担軽減
- ・事業の見直しや統廃合
- ・青年部の発足
- ・ITを活用した連絡網の構築

③魅力ある柴橋づくり

- ・しばはしまルシェの開催
- ・地域おこし部隊の発足
- ・平塩橋架け替えの要望と実現

○主な担当団体

柴橋地区区長会
地区内各種団体
柴橋小学校（コミュニティスクール）



若年層ワークショップ

5. 実施計画

目標	活動内容	実施する時期			役割分担	
		すぐに	2～3年	時間をかけて	地域	行政
子どもも安心な地域づくり	ゴミ捨て注意看板設置事業	○			○	○
	清掃活動の奨励と推進	○			○	
	フラワーロードの植栽活動	○			○	○
	立哨による見守り活動	○			○	
	防犯カメラ・街灯の増設事業		○		○	○
	あいさつし合える環境作り	○			○	
健康で生きる地域づくり	朝のラジオ体操	○			○	
	見守り、声かけ活動	○			○	
	各区ふれあいサロン活動	○			○	○
	この木交流会の開催	○			○	
	地域活動を通じた社会参加の推奨	○			○	
歴史と文化に親しむ地域づくり	熊野ラインを歩く	○			○	○
	田植踊り等の伝承と保存	○			○	
	地区の言い伝えの伝承と保存	○			○	
	柴橋文化体験学習	○			○	○
	柴橋小学校の体験授業	○			○	○
	お～るしばはし文化祭の開催	○			○	○
災害に強い地域づくり	防災意識の啓発活動	○			○	
	家庭用消防具の定期点検	○			○	○
	非常時持ち出し袋作成の普及推進	○			○	
	柴橋地区防災計画の策定		○		○	○
	各区の自主防災活動	○			○	
	しばはし防災参観日の開催	○			○	○
柴橋ならではの地域づくり	住みやすさ調査と改善		○		○	
	事業・体制の見直し		○		○	
	青年部の発足		○		○	
	ITを活用した連絡網の構築	○			○	
	しばはしマルシェの開催	○			○	○
	地域おこし部隊の発足		○		○	
	平塩橋の架け替えの要望活動			○	○	○

6. 資料

令和2年度 しばはし(488A)地域づくり委員会役員名簿

役 職		氏 名		所 属 団 体 (役 職)
会長		柏倉 隆夫		柴橋地区区長会長
副会長		佐藤 幸也		柴橋地区区長会副会長
副会長兼会計		後藤 正美		柴橋地区町会衛生部会長
監事		木村 龍一		何でもやる部 副部長
		小林 裕子		やる気だす部 副部長
委 員	区長会 分館長・分館主事会	武田 富一	新宮 啓一	柴橋区分館長・分館主事
		平 孝次郎	佐藤 良一	落衣区分館長・分館主事
		佐藤 幸也	太田 一郎	木の沢区分館長・分館主事
		芳賀 芳昭		大江木の沢区長
		茂木 春義	兼子 宏幸	松川区分館長・分館主事
		柏倉 隆夫	古川 直仁	金谷区分館長・分館主事
		安孫子 敏	菅野 久	中郷区分館長・分館主事
		大江 治部郷	今野 賢治	平塩区分館長・分館主事
	何でもやる部 部長	梅津 和義		消防団第四分団分団長
	やる気だす部 部長	犬飼 文昭		柴橋地区子ども会育成委員連絡協議会長
	思いやり部 部長	井上 康		柴橋地区社会福祉協議会長
	見まもり部 部長	武田 富一		防犯協会柴橋支部長
	車あんぜん部 部長	大江 治部郷		柴橋地区交通安全部会長
	住みくらし部 部長	後藤 正美		柴橋地区町会衛生部会長
	むかし語り部 部長	犬飼 忠義		熊野ラインを進める会長
	体力づくり部 部長	小野 文雄		柴橋地区体育協会長
	事 務 局	事務局長	松田 仁	
委員		菅野 昭義		事業部長
委員		渡辺 孝一		柴橋地区コミュニティセンター職員
委員		大沼 貴		柴橋地区コミュニティセンター職員
委員		熊坂 奨太		集落支援員



しばはし(4884)地域づくり委員会組織図

